

授業科目 運動学習

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学・作業
久保雅義		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GIO】					
<p>リハビリテーション成功の鍵は、対象者自らが「問題点に気づき、解を発見し、行動を変えていける能力を持つ」ことにある。セラピストとしての関わりは、その気づきを助けることにあり、単に必要な知識ややり方を「教える」だけでは十分とはいえない。また、疾病の状態によっては、学習する能力自体に変容をきたしている場合もあり、セラピストとしては本当に学習が行われているか確認しながら進めていかなければならない。</p> <p>この講義では、運動学習に関わる話題を、心理学、工学、運動学などさまざまな観点から解説し、運動学習に対する幅の広い理解をうながす。</p>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動学習の理論的背景について理解できる 2. 運動学習効果に影響を及ぼす因子について説明できる 3. 運動学習・制御における中枢神経系の役割について説明できる 4. 強調運動について説明できる 5. 運動の「ばらつき」について説明できる 6. 知覚と行動の結びつきについて説明できる 7. 脳の可塑性とリハビリテーションアプローチについて説明できる 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	運動学習の理論的背景			1	久保 / 講義
2	運動学習の条件			2	久保 / 講義
3	運動学習と中枢神経			3	久保 / 講義
4	協調運動のなりたち			4	久保 / 講義
5	運動の「ばらつき」			5	久保 / 講義
6	パーセプションアクションカップリング			6	久保 / 講義
7	脳の可塑性とリハビリテーション			7	久保 / 講義
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		運動学習とパフォーマンス-理論から実践へ		大修館書店	4,800円
		モーターコントロール-運動制御の理論と臨床応用		医歯薬出版	8,600円
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出席、試験結果などを併せて評価する。					